

『府内製造業のカーボンニュートラルとイノベーションへの取組』 ～「地球温暖化対策とイノベーションに関する調査報告書」～

昨今、世界的に持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の実現に向けた取組が推進されている中で、特に毎年のように発生する大規模災害の要因の一つとされる地球温暖化への対応として、カーボンニュートラルへの取組が求められている。そこで、大阪府内の製造事業者のそれら取組状況とともに、新事業など企業改革やイノベーションへの取組実態を合わせて調査分析し、さらなる取組の推進に向けたポテンシャルや対応などを明らかにする。

○調査結果のポイント

（1）CO₂削減には排出量の算出方法の理解が課題

CO₂削減に取組む企業が約23%みられるが、そもそも算出方法がわからないという企業も多い。

（2）カーボンニュートラルの取組は製品・技術の開発からモノの循環関連事業へ

カーボンニュートラルへの事業としての取組は、現状では既存事業における個別製品・技術の開発が多いが、今後はモノの循環という社会システムの改善への取組意向が強い。

（3）カーボンニュートラルに取り組む企業は新事業にも積極的に取り組んでいる

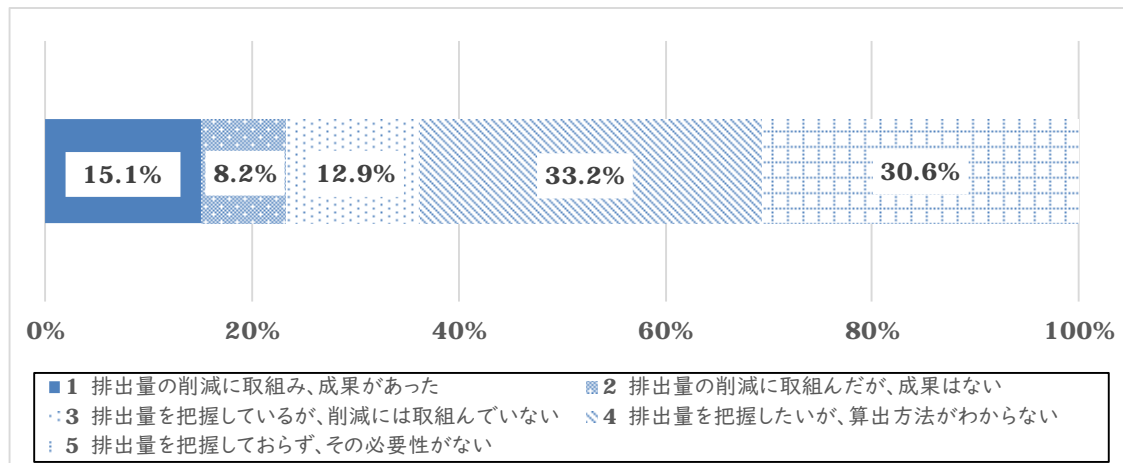
カーボンニュートラルに取組企業は、そうでない企業と比べて、新事業の実施割合が高い。

○調査結果の概要

（1）CO₂削減には排出量の算出方法の理解が課題

カーボンニュートラル（排出 CO₂削減）への取組（「排出量の削減に取組み、成果があった」+「排出量の削減に取組んだが、成果はない」）は23.3%となっているが、「排出量を把握したいが、算出方法がわからない」企業は33.2%に達し、CO₂排出量の算出方法の理解が課題となっている。

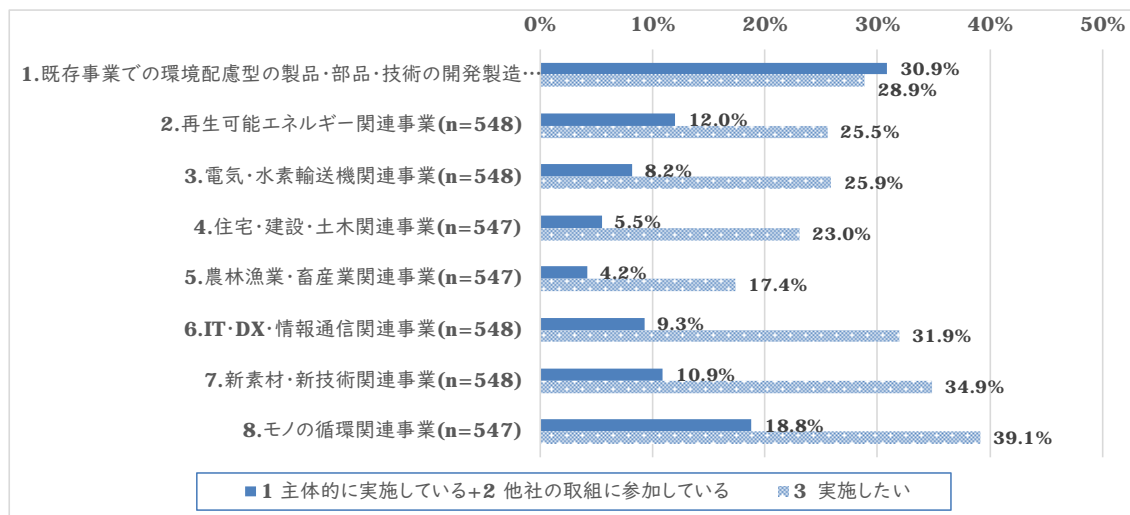
図表Ⅰ CO₂排出量の把握・削減への取組



(2) カーボンニュートラルへの取組は、製品・技術の開発からモノの循環関連事業へ

カーボンニュートラル(排出 CO₂削減)に関連した事業への取組は、「既存事業での環境配慮型の製品・部品・技術の開発製造」が **30.9%**と最も多いが、今後実施したいテーマは「モノの循環関連事業」が **39.1%**と、廃棄物の削減や活用に向けて取組への関心が高い。

図表2 地球温暖化対策関連事業への取組状況



(3) カーボンニュートラルに取組む企業は新事業にも積極的に取り組んでいる

カーボンニュートラルに取組む企業で、新市場への新製品・技術開発を行う企業(「実施し販売実績がある」+「実施し事業化中」)は **47.7%**で、非取組企業(**28.5%**)より積極的な取組み姿勢がみられる。

図表3 新市場への新製品・技術開発とカーボンニュートラルへの取組

